



米田 亮太

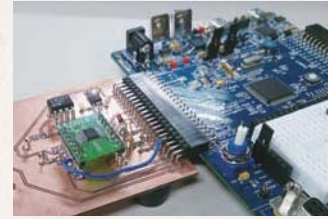
総合理工学府
 量子プロセス理工学専攻
 修士 1年

私は現在、電子回路設計を専門とする研究室に所属し、生体認証に関するセンサー技術の開発を行っています。学部生時代は、新規超伝導物質の探索という全く異なる課題で研究をしていました。そんな私が電子回路に強い興味を持ったのは、何時間も超伝導物質の測定をしている時でした。高度な測定機器の中身がふと気になったのがきっかけで、電子回路について詳しく学ぶため、本大学院への進学を決めました。

グリーンアジア国際戦略プログラムでは、自身の学問領域を超えた知識、経験を得ることが期待されています。環境学や社会学、経済学などを学び、それぞれの分野の方々と意見を交換することで、社会において自分が今後どのような役割を果たすべきか俯瞰的な視点を得ることができると考えています。

また、私たち日本人学生は、アジア圏を中心とする様々な国からの留学生と五年間共に学んでいきます。彼らの文化的、宗教的背景を理解し、コミュニケーションを取ることは非常に良い経験であると実感しています。日本人学生と留学生が互いに切磋琢磨することで、グローバル人材に必要な資質が養われるのではないのでしょうか。

このように魅力的なカリキュラムが用意されている本プログラムですが、学生として活発に意見を発信し、より良いプログラムとなるように努力していきたいと思っています。



濱田 夏彦

総合理工学府
 環境エネルギー工学専攻
 修士 1年

私は昨年10月より、九州大学におけるリーディング大学院グリーンアジア国際戦略プログラムのコース生になりました。

現在は主研究テーマである「核融合発電」に関するプラズマの研究を行なっています。核融合発電は現在深刻視されているエネルギー枯渇問題の解決につながる非常に重要な開発研究として期待されています。そのような研究に携われることを非常に嬉しく思っています。同時に、グリーンアジア国際戦略プログラムのコース生として、今後特別で有意義な経験が出来ることを非常に嬉しく思っています。私は学部時代、機械科専攻だったため、物作りにも非常に興味があります。色々な分野の研究に携われることが出来るこのコース生としての特権を活かして、幅広く物事を考えることができる人間になりたいと思っています。

私の趣味はダンス、スノーボード、バックパックです。体を動かすこと、人と関わるのが大好きです。大学院生になってからは、1ヶ月半かけて東南アジア7ヶ国をバックパックで一周しました。見たこともない景色、経験したことのない体験をすることができ、今後の生活の糧となるものでした。今後もグリーンアジア国際戦略プログラムコースを通して、様々な経験を積み、一人の人間として日々成長していきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひします。



田中 雅仁

工学府
 地球資源システム
 工学専攻
 修士 1年

現在、難処理金鉱石の前処理方法としてバイオオキシデーションに関する研究を行っています。バイオオキシデーションとは微生物の働きを利用し、目的とする金粒子を覆う不要な硫化鉱物部分を溶解することで、金粒子をより鉱物表面へ露出させるための前処理方法です。バイオオキシデーションによってその後に必要となるシアン使用量を抑え、コスト並びに環境負荷を低減することが期待できます。資源開発や資源処理、環境問題を考えるに当たって経済や人文社会を考慮する必要があります。日本は資源に乏しく、海外調達が主となり、そのためその地の人々や文化を理解する必要があります。資源分野に関わる問題点や改善点を理解するために、海外研修や多様な出身の留学生たちとの交流により海外の風土や文化を実際に感じる事ができることは大きな利点であると思います。また、本プログラムでは専攻分野以外の学問を学ぶことができ、幅広い視点から物事を見る力を養うことができると考えています。従来では視点が一つになりがちですが、全体を見渡すことができる能力も必要であり、そういった人材となることを目標としています。この大学院の期間でどれだけ自分を鍛えることができるか楽しみです。

